

令和7年度第1回外国人技能実習機構契約監視委員会
議事概要

1 日時

令和7年11月7日（金）13:30~15:00

2 場所

外国人技能実習機構 第1会議室

3 出席者（委員（敬称略））

高田 晴仁（慶應義塾大学大学院法務研究科（法科大学院） 委員長）

島田 耕一（山分・島田・西法律事務所 弁護士）

山口 留美（山口留美公認会計士事務所 公認会計士）

松田 誠太（外国人技能実習機構 監事）

石田 恵美（外国人技能実習機構 監事）

4 議題

（1）令和7年度上半期における契約状況について

（2）個別審議案件（4件）

5 議事

議案の審議に先立ち、委員長の選任が行われ、互選の上、高田晴仁委員が委員長に選任された。

（1）令和7年度上半期における契約状況について、事務局より資料に基づき説明が行われた。

（2）令和7年4月1日~令和7年9月30日までに締結した案件の中から抽出した、随意契約1件、一般競争入札（最低価格落札方式）2件及び一般競争入札（総合評価落札方式）1件の計4件について審議が行われた。

主な質疑応答については以下のとおり。

〈抽出案件1〉	外国人技能実習情報管理システムのデータベース容量拡張作業一式	
意見・質問	回答	
データベースの容量が枯渇するということが、当初契約時の見積もりが甘かったのか、何か急激な増加があったのか、分析はしたか。	業務開始後、申請数が想定外に大幅に伸びたことにより、申請書等PDFで保存している部分について容量が枯渇したところ。	
当初契約時からデータベースの容量を大きくするとリース料がその部分高くなるわけだが、データベースを組み上げるSEの費用についても容量の大小で変わるのか。また、保守料も高くなるのか。	SEの費用については大きくは変わらないが、保守料については、ディスクの物理的な本数が増えることから高くなる。	
月額使用料は別途費用発生しないのか。	発生する。本件はディスクを組み込む作業費としての契約であり、組み込んだディスクのリース料、保守料等の運用費について、現行のシステム運用保守契約を変更契約して毎月支払っている。	
本審議案件を検討するにあたっては、リース契約についても併せて検討すべき。次回以降は	承知した。	

ひとつの取引として契約全体が分かるような説明をお願いします。	
契約金額について、システムアドバイザーの評価はどうか。また、リース料についても価格の妥当性について見てもらっているのか。	契約金額については適正であると判断をされた。リース料についても、見積もりの保守料やSEの工数等確認され、価格の妥当性を判断いただいた。

〈抽出審査2〉	外国人技能実習機構における「WEB 会議システムのライセンス・保守業務一式」
意見・質問	回答
本 WEB 会議システムは Cisco Webex 社の商品だが、Cisco Webex 社から見積もりは取ったのか。わざわざ代理店を通さずに、Cisco Webex 社と直接契約した方が交渉によっては価格が下がるということはないか。	Cisco Webex 社については、必ず代理店を通す形態が取られている。その代理店が今回再委託をしている株式会社プリンストンであり、ライセンスの取得に関しては株式会社プリンストンが請け負っている。
去年よりも予定価格金額が下がっているが、価格高騰の折でなぜ下がったのか。また、予定価格の積算に使用しているB社の見積もりが非常に安いのはなぜか。	去年の予定価格よりも金額が下がっているのは、安価なB社の見積もりを参考見積書の一つとして引用したことが理由。B社が安価なのは、保守体制を絞っていることが考えられる。
予定価格を立てる時は過去実績を材料にするのか。あくまでその時々を見積もりか。	過去数年の平均で取ることもあるが、最近の価格高騰の中で、あまり過去の見積もり額を参考にすると当時の価格が影響し適正な見積もりが難しくなるという部分もあるため、最近では直近で得た見積もりを参考にしている。
Webex の保守は代理店を通すとサポートがつくのか。また、サポートは実際に使用することがあるのか。	サポートがつく。時折マイクが壊れたりするので、新しいものへの交換や修理対応をしてもらった実績はある。

〈抽出審査3〉	事務用消耗品の購入（単価契約）
意見・質問	回答
消耗品リストの数量はどのように算出しているのか。	各地方事務所からの要望を取りまとめて算出している。
受注する業者側の意見として、かなり細かい品目数を指定されることについて、もう少しまとめてくれといった話はないのか。	入札説明書を取りに来たが入札に応じなかった業者に理由を聞いてみたところ、数が多く取り扱っていない商品があり応札できない旨の回答であった。 例えば予定価格の半分をコピー用紙が占めているが、コピー用紙については印刷会社、製紙会社、システム会社などが取り扱っている。今回の受託者は事務用品販売会社だが、事務用品とそうでないものを切り分けると違う結果になる可能性がある。

<p>今年度から入札辞退者にアンケートを実施しているとのことだが、具体的にこの商品の取り扱いがないといった回答はあったか。また、仕様書に記載のある参考商品というのはあくまで参考ということによろしいか。</p>	<p>アンケートは今年度の入札案件から始めたので、昨年度開札を行った本件については実施していない。参考商品というのは、あくまで参考で、仕様書に記載のある規格と同等品であれば良い。</p>
<p>アンケートを実施すれば、同等品であっても取り扱いがないものがどれなのかというのを特定しやすいかと思う。すべてを1箇所に頼むのが実際に効率が良いのかどうか再考する余地があるのではないか。</p>	<p>承知した。</p>
<p>消耗品リストにある商品をネットで価格を調べてみたところ、ネットの販売価格に比べ、予定価格がかなり割高になっている商品がある。1箇所に頼むことでコストが上がっているのか、もしくは配送料も込みの契約になっているからか、そのあたりどのように分析されているか。</p>	<p>地方事務所13箇所も含んでいるため、納品は本部及び各地方事務所への配送となる。ご認識のとおり送料込みの契約となっており、ある程度単価の中に跳ね返っているとは思いますが、予定価格の積算については見直しを図ってまいりたい。</p>

<p>〈抽出審査4〉</p>	<p>育成就労制度対応システム（仮称）の設計・開発業務一式</p>	
<p>意見・質問</p>	<p>回答</p>	
<p>現行システム（TIMS）を開発していなくても、新たなシステムなので受託に影響はないという理解でいいか。現状のシステムと新たなシステムとの間にデータのやり取りはないのか。</p>	<p>TIMSを開発していなくても受託に影響はない。TIMSを存続させるのではなく、新システムではTIMSを廃止し同等機能を新しく作成する。その中で必要に応じて連携していく。</p>	
<p>これだけ大きな契約で魅力があるかと思うが、他に応札する業者がいなかった理由はどこにあるのか。</p>	<p>逆に規模が多いためリスクも高まるということもあり、話を聞きにきた業者はあったが実際には1社応札となってしまった。</p>	
<p>入札応募要件の受託実績のところ、「政府情報システムの設計・開発を行った実績を過去3年以内に有すること」とあるが、政府情報システムの設計・開発ということが過去3年間において日本全体で何件程度行われているのか。設計・開発の頻度は低いイメージをもっているが、その他の受託実績は5年以内という条件の中、1番厳しそうな当該実績だけさらに過去3年に絞り込んだ意図は何か。</p>	<p>政府情報システムというのは、各省庁の各局においてそれぞれの基幹システムを作っているため、相当数のシステム開発が行われているところである。その中で当該実績を過去3年間とした理由については、政府情報システムは毎年改定が行われているデジタル庁の指針に沿って開発しているところ、過去5年間とした場合に必ずしも当時の指針に沿った開発実績を有しているといえないため、過去3年に絞り込んだ意図がある。</p>	
<p>政府の情報システムというだけでも数社に限られてしまうようなイメージであり、日本を代表する大手企業に限られてしまわないか。過去3年という条件は入れざるを得ないものなのか。</p>	<p>政府のシステムには様々な規模があり、規模が大きいものは大企業になってしまうが、クラウドを活用してシステムを作るベンチャー企業も入っていると聞いている。実際、昨年度要件定義している中でも1社そうした企業を紹介してもらっていたが、最終的には規模が大きすぎるということで辞退してしまった経緯がある。</p>	

<p>開発に要した工数が 200 人月以上のシステムの設計・開発及び導入を行った実績というのがあり、かなり規模が大きいイメージだが、やはり新興企業でも実績があるような規模なのか。</p>	<p>先ほどお話しした会社にも示したが、応募要件を満たしているという回答をもらった。</p>
<p>一度システム開発を始めると、他の業者に変えるのは難しいので、後になって追加費用を請求されるようなことがないよう注意していただきたい。</p>	<p>調達側としてシステム要件の中身をしっかりと作成し、後から額が膨らむということがないように仕様書を作成した。</p>
<p>新制度対応のシステムであり、まだ制度自体も固まっていない中、制度設計と並行してシステム開発を進めていくことは難易度が高いと思うが、コントロールは出来ているか。当初の予定からスケジュールの遅れ等は生じていないか。</p>	<p>今まさしく設計・開発している中で、機能の規模感について、落札した HITACHI が提案してきたことに対し、当初より大きく膨らんでいないかというところをシステムアドバイザーに精査していただき的確な助言をいただいているところ。現状、当初予定していたスケジュール等に大きな遅れはない。</p>
<p>前回のシステム構築時は、現場の意見を聞いていない等の問題もあり、仕様ミスやバグが多数あり、リリース後現場に大きな混乱があったと聞いている。必要な改善を図るとともに、経営陣が関与して必要な判断を行うようにしていただきたい。</p>	<p>前回の反省点を踏まえて、現場の意見集約や理事会後の進捗報告等に取り組んでいるところ。</p>
<p>当該調達について、システムを動かすにあたっての関連調達がいくつか出てくるかと思うが、今後当該調達が審議の場にかかることがあれば全体像がわかる資料を用意していただきたい。</p>	<p>承知した。</p>